教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 建築学科　　資格： 准教授　　氏名： 天畠　秀秋

研究分野	研究内容のキーワード
建築計画、都市計画、建築史・意匠、人文地理学	囲繞空間、風水思想、都城、自然観、終末期古墳、3次元GIS、UAV写真測量、景観
学位	最終学歴
修士（工学）、学士（工学）	京都大学大学院 工学研究科 生活空間学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.イタリア海外研修	2017年08月24日～2017年09月06日	海外研修Ｉの授業として、2017年8月24日(木)から9月6日(水)の14日間、建築学科2年生36名が参加したイタリアでの海外研修の引率を担当した。学生の手本となるように教員自身もスケッチをした。毎日の研修の様子は、毎日ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。 http://www.mukogawa-u.ac.jp/~arch/event/kaigai/kaigai17_2.html
2.JABEE認定（建築学科･建築学専攻 6年一貫：建築系学士修士課程）	2013年04月26日～	建築学科・建築学専攻の教育は、日本初の建築系 学士修士課程６年間のJABEE認定により、UNESCO-UIA 建築教育憲章対応プログラムとして国際的に認められた。2011年度からさかのぼって6年度間の認定。2017年に認定継続審査を受け、2017年度から改めて6年間の認定を受けた。
3.JABEE認定（建築学科 4年：エンジニアリング系学士課程）	2013年04月26日～	建築学科の学士課程(4年)のプログラムは、エンジニアリング系学士課程 建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野においてJABEEの認定を受けた。2011年度からさかのぼって6年度間の認定。2017年に認定継続審査を受け、2017年度から改めて6年間の認定を受けた。
4.トルコ バフチェシヒル大学における海外実習	2011年09月26日～10月12日	2008年12月に締結したトルコ・バフチェシヒル大学との間の一般交流協定に基づき、2011年9月26日(月)から10月12日(水)の17日間、修士1年生7名の引率を行い、バフチェシヒル大学の企画の下で保存修復関連の実務訓練を行った。教員自身もスケッチをし、学生の手本となるようにした。毎日の実習の様子は、毎日ホームページの原稿を作成してリアルタイムで更新して公開した。 http://www.mukogawa-u.ac.jp/~arch/event/icsainIstanbul/icsainIsanbul2011.html
5.教員自身による設計案の検討と、スタジオにおける学生との設計行為の共有	2011年04月～現在	「建築設計演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ」「建築設計総合演習Ⅰ」においては、他の学生の案に対する対話だけでなく、教員自身でも案を検討し、エスキス、スケッチ等を各自の机に提示することにより、学生と教員がスタジオにおいて設計行為を共有できるようにしている。
6.実物大の空間構築体験にもとづく建築設計の実施	2011年4月～現在	大学院の「建築設計総合演習A･B」においては、与えられた材料から実物大のモノの組立て体験を行い、その体験をもとに建築の構造や工法を考え設計をおこなっている。
7.小テストの実施および採点した小テストの返却	2011年04月～現在	「現代建築論」「建築設計計画Ⅲ」「建築家の職能と倫理(旧 建築設計論I）」「建築計画論I」では、講義の冒頭に、論述形式の小テストを複数回実施している。講義内容の定着をはかるとともに、学生の文章表現力の向上に寄与できている。小テストは、添削して返却し、理解が不十分であると思われるところは授業の冒頭で復習するようにしている。また、小テストを課している間に出席確認ができるので、授業時間の有効活用にもつながる。
8.学生の積極的参加を促す講評会の実践	2009年11月～現在	「建築設計演習Ⅱ・Ⅳ・Ⅴ」「建築設計総合演習A･B」

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
		の講評会では、教員や外部講師だけでなく、発表を聴いている学生も、発表者に質問や意見等を述べる機会を設けている。また全員の発表に対するコメントや意見を記入する用紙を配布し回収することにより、受講態度の向上をはかっている。
9.演習における講評会の実施	2007年09月～現在	「建築設計演習II・IV・V」「建築設計総合演習I」では、各課題の最後に受講生全員が自分の作品について発表する講評会を行う。教員や学外からの講師による講評を受けることができ、理解を深めることが出来る。
10.演習における作品の展示	2007年04月～現在	「建築設計演習II・IV・V」「建築設計総合演習I」では、各課題の受講生全員の作品を建築スタジオのギャラリーに展示し、学生の意欲を高めるとともに、一般の見学者や学内関係者に公開している。
11.授業アンケートの実施による授業改善の工夫	2006年09月～現在	「現代建築論」「建築計画IV」「建築設計計画Ⅲ」「建築設計論Ⅰ」では、授業の最後に自由記述式のアンケートを自主的にとることにより、学生の質問や意見に対して即座に対応し、次回以降の授業に反映できるようにしている。
12.授業内容のホームページでの公開	2006年04月～現在	設計演習やフィールドワークの授業内容は建築学科・建築学専攻ホームページで公開している。
13.講義や演習と関連し、実践的な教育を可能にする学外実習	2006年04月～現在	「フィールドワークIA・IB・IIA・IIB・IIIA・IIIB・IV・VA・VB」では、講義や演習の内容と関連づけて、現場に赴き実際に体験することで理解を深めることができる。
14.スライドを活用した授業	2006年04月～現在	「現代建築論」「建築設計計画Ⅲ」では、パワーポイントによるスライドを活用した授業を行っている。文字だけでなく写真や図などを使い、具体的に理解できるように工夫している。
2 作成した教科書、教材		
1.武庫川女子大学建築学科 平成29年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2017年06月～07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
2.武庫川女子大学建築学科 平成29年度2年前期「CAD・CG応用演習Ⅰ」	2017年06月～07月	「動画作成の演習」「テクスチャと添景の演習」「小規模なRC造のモデリング」のマニュアルを作成した。
3.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成29年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2017年05月～06月	課題2「スペースフレームによる曲面の建築」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
4.武庫川女子大学建築学科 平成29年度１年前期「現代建築論」	2017年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
5.武庫川女子大学建築学科 平成29年度4年前期「建築設計演習V」	2017年04月～05月	課題1「老いが教えてくれる生きた空間: 老人福祉施設の設計」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
6.武庫川女子大学建築学科 平成28年度1年後期「空間表現演習Ⅱ」	2016年12月～2017年01月	「祈りの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
7.武庫川女子大学建築学科 平成28年度1年後期「図学･情報基礎演習Ⅱ」	2016年11月	「多面体による構成」の課題説明書、課題説明用スライドを作成した。
8.武庫川女子大学建築学科 平成28年度1年後期「図学･情報基礎演習Ⅱ」	2016年10月～11月	「CADによる図面の表現」のマニュアルを作成した。
9.武庫川女子大学建築学科 平成28年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2016年06月～07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
10.武庫川女子大学建築学科 平成28年度4年前期「建築設計演習V」	2016年06月～07月	課題3「水辺の楽園」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
11.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成28年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2016年05月～06月	課題2「地球環境に配慮したスペースフレームによる建築」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
12.武庫川女子大学建築学科 平成28年度１年前期「現代建築論」	2016年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダ

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
		ニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
13.武庫川女子大学建築学科 平成28年度1年前期「空間表現演習Ⅰ」	2016年04月	「鏡面と透視体による構成」の課題説明書、課題説明用スライドを作成した。
14.武庫川女子大学建築学科 平成28年度1年前期「空間表現演習Ⅰ」	2016年04月	「平面による構成」の課題説明書、課題説明用スライドを作成した。
15.武庫川女子大学建築学科 平成27年度1年後期「図学･情報基礎演習Ⅱ」	2015年11月	「多面体による構成」の課題説明書、課題説明用スライドを作成した。
16.武庫川女子大学建築学科 平成27年度1年後期「図学･情報基礎演習Ⅱ」	2015年10月～11月	「CADによる図面の表現」のマニュアル、参考資料を作成した。
17.武庫川女子大学建築学科 平成27年度1年後期「図学･情報基礎演習Ⅱ」	2015年09月～10月	「図学の応用：平行投影、陰影の基礎、陰影の応用」の課題説明書、参考資料を作成した。
18.武庫川女子大学建築学科 平成27年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2015年06月～07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
19.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成27年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2015年05月～06月	課題2「 地球環境に配慮した組バラシ自由な建築」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
20.武庫川女子大学建築学科 平成27年度１年前期「現代建築論」	2015年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
21.武庫川女子大学建築学科 平成27年度4年前期「建築設計演習V」	2015年04月～05月	課題1「老いが教えてくれる生きた空間: 老人福祉施設の設計」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
22.武庫川女子大学建築学科 平成26年度3年後期「建築設計演習Ⅴ」	2014年12月～2015年01月	課題3「歩いて楽しい商業空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
23.武庫川女子大学建築学科 平成26年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」	2014年10月～11月	課題2「隣と親しくなる中高層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
24.武庫川女子大学建築学科 平成26年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2014年06月～07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
25.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成26年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2014年06月～07月	課題3「膜屋根による半屋外遊戯場があこども館」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
26.武庫川女子大学建築学科 平成26年度１年前期「現代建築論」	2014年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
27.武庫川女子大学建築学科 平成26年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2014年04月～05月	課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
28.武庫川女子大学建築学科 平成25年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」	2013年10月～11月	課題2「隣と親しくなる職住一体型中低層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
29.武庫川女子大学建築学科 平成25年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2013年06月～07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
30.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成25年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2013年06月～07月	課題3「膜屋根による半屋外遊戯場があこども館」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
31.武庫川女子大学建築学科 平成25年度１年前期「現代建築論」	2013年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
32.武庫川女子大学建築学科 平成25年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2013年04月～05月	課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
33.武庫川女子大学建築学科 平成24年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」	2012年10月～11月	課題2「隣と親しくなる職住一体型中低層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
34.武庫川女子大学建築学科 平成24年度2年後期「建築	2012年09月～10月	課題1「祈りの空間」の課題説明書、課題説明スライ

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
設計演習Ⅱ」		ド、補助資料を作成した。
35.武庫川女子大学建築学科 平成24年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2012年07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
36.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成24年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2012年05月～06月	課題2「地球環境に配慮した組バラシ自由な礼拝堂」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
37.武庫川女子大学建築学科 平成24年度1年前期「現代建築論」	2012年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開、建築の保存に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
38.武庫川女子大学建築学科 平成24年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2012年04月～05月	課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
39.武庫川女子大学建築学科 平成23年度3年前期「建築設計計画Ⅲ」	2011年06月～07月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
40.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成23年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2011年06月～07月	課題3「膜屋根による半屋外遊戯場があるこども館」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
41.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成23年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2011年05月～06月	課題2「地球環境に配慮した組立て型の礼拝堂」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
42.武庫川女子大学建築学科 平成23年度1年前期「現代建築論」	2011年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展、モダニズムの反省と20世紀後半の展開に関する講義スライド、配布資料、小テストを作成した。
43.武庫川女子大学建築学科 平成23年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2011年04月～05月	課題1「老いが教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
44.武庫川女子大学建築学科 平成22年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」	2010年12月～2011年01月	課題3「歩いて楽しい商業空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
45.武庫川女子大学建築学科 平成22年度3年後期「建築設計演習Ⅳ」	2010年10月～11月	課題2「隣と親しくなる職住一体型中低層の集合住宅」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
46.武庫川女子大学建築学科 平成22年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」	2010年09月～10月	課題1「祈りの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
47.武庫川女子大学建築学科 平成22年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2010年06月～07月	課題3「水辺の楽園」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
48.武庫川女子大学大学院建築学専攻 平成22年度修士1年前期「建築設計総合演習Ⅰ」	2010年05月～06月	課題2「地球環境に配慮した組バラシ自由な礼拝堂」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
49.武庫川女子大学建築学科 平成22年度1年前期「現代建築論」	2010年4月～7月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展に関する講義スライド、配布資料を作成した。
50.武庫川女子大学建築学科 平成22年度3年前期「建築計画Ⅳ」	2010年04月～05月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
51.武庫川女子大学建築学科 平成21年度4年前期「建築設計演習Ⅴ」	2009年04月～06月	課題1「老いと病が教えてくれる生きた空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
52.武庫川女子大学建築学科 平成21年度3年前期「建築計画Ⅳ」	2009年04月～05月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
53.武庫川女子大学建築学科 平成21年度2年前期「CAD・CG演習Ⅲ」	2009年04月	CADを活用した図面の作成に関わる課題説明書およびマニュアルを作成した。
54.武庫川女子大学建築学科 平成20年度2年後期「CAD・CG演習Ⅳ」	2008年09月～10月	質感豊かなパースの作成に関わる課題説明書およびマニュアルを作成した。
55.武庫川女子大学建築学科 平成20年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」	2008年09月～10月	課題1「祈りや癒しの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
56.武庫川女子大学建築学科 平成20年度3年前期「建築計画Ⅳ」	2008年06月	地球環境問題と建築・都市、都市の将来像、公共交通と都市計画にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
57.武庫川女子大学建築学科 平成20年度1年前期「現代	2008年04月～07月	甲子園会館と建築スタジオの建築的特徴、現代建築の

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
建築論」		3大巨匠、19世紀末から20世紀初めの建築の発展に関する講義スライド、配布資料を作成した。
58.武庫川女子大学建築学科 平成20年度2年前期「CAD・CG演習Ⅲ」	2008年04月	CADを活用した図面の作成に関わる課題説明書およびマニュアルを作成した。
59.武庫川女子大学 平成19年度共通教育科目後期「風水思想と都市景観」	2007年09月～2008年01月	風水思想の歴史、基本概念・風水思想の吉地、古代宮都計画と風水思想の関連、現代の都市景観問題に対する風水思想の意義にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
60.武庫川女子大学建築学科 平成19年度2年後期「CAD・CG演習Ⅳ」	2007年9月～10月	質感豊かなパースの作成に関わる課題説明書を作成した。
61.武庫川女子大学建築学科 平成19年度2年後期「建築設計演習Ⅱ」	2007年09月～10月	課題1「祈りや癒しの空間」の課題説明書、課題説明スライド、補助資料を作成した。
62.武庫川女子大学建築学科 平成19年度１年前期「現代建築論」	2007年05月～07月	現代建築の3大巨匠に関する講義スライド、配布資料を作成した。
63.武庫川女子大学建築学科 平成19年度2年前期「CAD・CG演習Ⅲ」	2007年04月	CADを活用した図面の作成に関わる課題説明書を作成した。
64.武庫川女子大学 平成18年度共通教育科目後期「風水思想と都市景観」	2006年09月～2007年01月	風水思想の歴史、基本概念・風水思想の吉地、古代宮都計画と風水思想の関連、現代の都市景観問題に対する風水思想の意義にかかわる講義スライド、配布資料を作成した。
65.武庫川女子大学建築学科 平成18年度１年前期「現代建築論」	2006年04月～06月	現代建築の3大巨匠に関する講義スライド、配布資料を作成した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.ユネスコ文化遺産保存日本信託基金中央アジアのシルクロード世界遺産支援プロジェクト(第2期)「ウズベキスタンにおける現地トレーニングワークショップ」	2017年9月11日～9月21日	ウズベキスタンのタシケント、サマルカンド、ヒヴァにおいて、現地の考古学や建築分野の若手専門家を対象に、ドローンで撮影した写真を用いた写真測量による3次元モデリングの方法や動画でのシミュレーション方法についてワークショップの指導を行った。主に、ドローンの操作方法および写真測量による建築や地形の3次元モデルの作成方法の講義および指導を担当した。
4 その他		
1.担任業務	2022年4月～	建築学科 17期生の担任として、授業外における学生生活全般の支援を行っている。
2.兵庫県立尼崎稲園高等学校 分野別説明会（建築工学)「アートとしての建築学」	2018年11月29日	兵庫県立尼崎稲園高等学校の生徒計23名(1回目5名、2回目18名)に対する分野別説明会として、建築工学について、建築系の学科に進学する上で必要な勉強、考えないといけないことを含めて以下の目次で講義を行った。(1)建築とは？ (2)建築家の社会的役割と国家資格 (3)日本の建築教育と欧米の建築教育 (4)実務経験とプロフェッショナル・スクール (5)建築設計事例の紹介
3.芦屋高等学校 模擬授業「アートとしての建築学」	2016年11月17日	芦屋高等学校の生徒12名に対する模擬授業として、建築学について、建築系の学科に進学する上で必要な勉強、考えないといけないことを含めて以下の目次で講義を行った。(1)建築とは？ (2)建築家の社会的役割と国家資格 (3)日本の建築教育と西欧の建築教育 (4)実務経験とプロフェッショナル・スクール (5)建築設計事例の紹介
4.附属高校2年生対象「科学演習実験Ⅱ」	2016年10月4日	附属高校2年生 約50名を対象として、「紙と力」をテーマに模型を制作する演習を行った。(担当: 天畠秀秋，鳥巣茂樹)
5.担任業務	2016年4月～2022年3月	建築学科 11期生の担任として、授業外における学生生活全般の支援を行った。担任ガイダンス、学期末における保護者への成績送付状作成と発送、奨学金推薦書の作成、インターンシップ参加者の調整、カリキュラムツリーの点検、学生への諸連絡など。
6.附属高校2年生対象「科学演習実験Ⅱ」	2015年10月6日	附属高校2年生を対象として、「紙と力」をテーマに模型を制作する演習を行った。(担当: 大井史江，天畠秀秋)

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
7.大学院生の学会活動支援	2015年～	大学院生の学会活動支援を受けるための、書類作成の指導、所見欄の記入、提出書類の確認を行うことにより、大学院生の学会での研究成果の発表数の増加に寄与している。
8.西宮市立西宮東高等学校 進路セミナー 工学(建築分野) 「アートとしての建築学」	2014年10月1日	西宮市立西宮東高等学校1,2年生35名に対する進路セミナーとして、建築学について、建築系の学科に進学する上で必要な勉強、考えないといけないことを含めて以下の目次で講義を行った。(1)建築とは？ (2)建築家の社会的役割と国家資格 (3)日本の建築教育と西欧の建築教育 (4)実務経験とプロフェッショナル・スクール (5)建築設計事例の紹介
9.兵庫県の高校生対象「科学交流合宿研修会」	2014年7月22日	兵庫県の高校生6名を対象として、「原寸大のパンタゲル」をテーマに講義と、組立を体験する演習を行った。(担当: 宇野朋子, 天畠秀秋)
10.留学生支援	2009年06月～現在	留学生支援として、トルコバフチェシヒル大学からの短期留学のプログラムICSA in Japanに参加する留学生のスタジオの座席の整備、建築学専攻修士課程に入学した留学生のスタジオの座席の整備を行っている。
11.兵庫県立稲園高校模擬授業 「アートとしての建築学」	2008年9月22日	稲園高校1年生5名に対する職業別ガイダンスとして、前半はarchitectureの語源、建築設計における強・用・美、科学と芸術、技術と感性の両義性、建築家の社会的役割と国家資格、日本と欧米における資格制度の違いについて説明した。後半は実際に携わってきた建築設計や都市計画の例を紹介した。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.一級建築士	2010年02月	一級建築士とは国土交通大臣の免許を受け、一級建築士の名称を用いて設計工事監理等の業務を行うものである（建築士法2条2項）
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.建築学部教員として景観建築学科のスタジオ家具およびパソコンなどのマルチメディア機器の整備計画を担当	2019年4月～現在	景観建築学科および景観建築学専攻の年次進行にあわせて、スタジオ家具およびパソコンなどのマルチメディア機器、作品展示台などの整備計画を担当。
2.ドローンによる空撮写真を用いたウズベキスタン カンカ遺跡、ヒヴァのイチャン・カラ内の建築の3次元モデルの作成	2017年9月～12月	ユネスコ文化遺産保存日本信託基金中央アジアのシルクロード世界遺産支援プロジェクト(第2期)「ウズベキスタンにおける現地トレーニングワークショップ」の際に、ドローンで撮影した空撮写真を用いてカンカ遺跡およびヒヴァのイチャン・カラ内の建築の高精細な3次元モデルの作成を行った。完成した3次元モデルのデータは現地関係者に提供した。
3.建築学科教員としてスタジオ家具およびパソコンなどのマルチメディア機器の整備計画を担当	2007年4月～現在	建築学科および建築学専攻の学生の入れ替わりにあわせて、スタジオ家具およびパソコンなどのマルチメディア機器、ギャラリー作品展示台などの整備計画を担当。
4.武庫川学院施設部施設課専門員として新校舎建築スタジオの設計を担当	2006年4月～2007年3月	武庫川学院施設部施設課専門員を兼務し、岡崎甚幸教授の指導のもとで新校舎建築スタジオの設計および家具の設計・マルチメディア機器・実験室整備の計画などを担当。
5.武庫川学院管理部管理課にて学内の教育・研究施設の設計を担当	2004年4月～2006年3月	武庫川学院管理部管理課にて、岡崎甚幸教授の指導のもとで学術研究交流館新築工事、武庫川女子大学附属中学・高等学校芸術館改修工事、同芸術館渡り廊下新築工事、第一体育館2階改修工事、甲子園会館改修工事の設計および家具の設計・マルチメディア機器の計画などを担当。
4 その他		
1.夙川小学校校舎改築設計業務にかかるプロポーザル	2010年04月～05月	西宮市市教育委員会は、夙川小学校について、老朽校

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
4 その他		
審査委員会 審査委員		舎の改築及び耐震化を目的として、平成２３年度より校舎改築工事等を実施する予定であり、改築工事設計者の選定において、プロポーザル方式を導入した。そのプロポーザル審査のための審査委員として、設計者の選定を行った。
2.論文の引用実績	2008年	2件
3.論文の引用実績	2007年	2件
4.論文の引用実績	2005年	1件
5.論文の引用実績	2002年	1件

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.京町家の環境技術と生活態度そして文化の形成	共	2012年01月	武庫川女子大学出版部	岡﨑甚幸・大谷孝彦・鈴木利友・天畠秀秋　編 「京町家の伝統的住環境は、実は省エネ技術の宝庫である。そしてその背後にある住まい手の生活態度やその文化は伝統的住環境技術を産出した源泉であった。」 地球環境と言う現代社会の緊要なテーマを、京町家における伝統的住技術や住まい手の生活態度、それらによって形成された文化と言う視点から調査研究した成果をまとめた一冊。 今こそ、次世代のエネルギーや環境問題を考える上で、京町家から多くのことを学ぶべきである。 (「財団法人 住宅総合研究財団」2010年度出版助成)
2 学位論文				
3 学術論文				
1.Method of Visualizing Landscapes from Tombs of the Final Kofun Period in the Woods with a High-Definition Three-Dimensional Model by SfM and Three-Dimensional GIS: A Case Study of Koguchiyama Tomb in the Kawachi Area(査読付)	共	2021年12月6日	International Association of Silkroad Universities, archi-cultural interractions through the Silkroad, POST-CONFERENCE BOOK, 5th iaSU international Conference, June 24-26, 2019, Ulaanbaatar, Mongolia, pp.182-197	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We visualized landscapes from the Koguchiyama Tomb with a high-definition three-dimensional model by SfM and three-dimensional GIS for analyzing the relationship of the axial direction of the tomb and the view. We also clarified the following points:1) By SfM with photographs from the sky and under the tree crown by a small UAV and a cm accuracy GNSS survey, we generated georeferenced DSMs with about 0.2-cm resolution and orthophotos with about 0.1-cm resolution at most, which can express the microtopography of the tomb in the woods. 2) With overlaying DSMs and orthophotos by SfM on a 5-m DEM and orthophotos by GSI using three-dimensional GIS, we can quickly visualize landscapes from the tomb in the Final Kofun period, although the view is now almost completely obstructed by the surrounding trees.
2.Method of visualizing landscapes from tombs of the Final Kofun period with a high-definition three-dimensional model by SfM and three-dimensional GIS: A case study of three tombs in the Kawachi area(査読付)	共	2019年3月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding Vol.8 pp.7-16	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We visualized landscapes from three tombs of Japan’s Final Kofun period (the latter part of the 6th century through the end of the 7th century) in the Kawachi area (Kannonzuka, Hachibuseyma-nishimine, and Okameishi Tombs) with a high-definition three-dimensional model by structure from motion (SfM) multi-view stereo photogrammetry and three-dimensional GIS to analyze the relationship of the axial directions of the tombs and their views. We clarified the following points: 1) By SfM with photographs from an unmanned aerial vehicle (UAV), we generated georeferenced digital surface models (DSMs) with about 1-cm resolution and orthophotos with about 0.5-cm resolution to express the microtopography of the three tombs. 2) We overlaid DSMs and orthophotos by SfM on a 5-m digital elevation model (DEM) and orthophotos by GSI using three-dimensional GIS and visualized landscapes from the three tombs at that time, although their views are

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				now obstructed by trees. 3) Considering the surrounding obstacles, shooting photos with a manual pilot is more suitable than with an auto pilot for reproducing the shapes of the stones and the tomb mounds.
3.LANDSCAPE ANALYSIS OF TOMBS OF THE FINAL KOFUN PERIOD IN THE KAWACHI AREA USING A THREE --DIMENSIONAL MODEL(査読付)	単	2016年11月	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road, Proceedings pp. 84-87	Using a three-dimensional model, I analyzed the natural landscape views from 20 tombs of the Final Kofun period located in the Kawachi area to determine their characteristics and the relationship between landscape and each axial direction. I clarified the following: 1. Characteristics of 20 tombs were classified into the following four landscape types: 1) a distant panoramic view of the Kongo and/or Izumi Mountains; 2) an intermediate view of the surrounding mountains and a divided distant view of the Kongo and/or Izumi Mountains; 3) having an intermediate and/or short-distance view of the surrounding mountains and a partially distant view; and 4) a distant panoramic view of Osaka Bay. 2. Axial directions of almost all of these tombs were selected based on their mountain views.
4.Enclosed Spaces of Ancient Japanese Cites and Watersheds: Analysis of Mountain Ranges and Water Systems of Kyoto, Nara, Dazaifu, and Kamakura Using a Three-dimensional Terrain Model (査読付)	共	2013年3月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding, Volume 3, pp.41-47	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki In this paper, we used a three-dimensional terrain model to study the relationships between the enclosed spaces of Kyoto, Nara, Dazaifu, and Kamakura and their watersheds. Most previous studies used two-dimensional maps and concluded that these four cities have similar enclosed spaces surrounded by mountains. However, in this study, we analyzed enclosed spaces through watersheds in a wide area using a three-dimensional terrain model and clarified the following points: 1) The Kyoto’s basin area is about nine times as large as that of the Nara Basin. 2) Dazaifu’s enclosed space is open to the southeast and the northwest, and its basin area is much smaller than Kyoto and cannot store water like the other three cities. 3) Kamakura’s enclosed space is surrounded by mountains in three directions and can store water, but its basin area is the smallest among the four cities. 4) Kyoto has the largest basin area among the four cities.
5.RELATIONSHIPS BETWEEN FENG-SHUI AND LANDSCAPES OF CHANGAN AND HEIJO-KYO(査読付)	共	2012年09月	Archi-Cultural Translations through the Silk Road, 2nd International Conference, Mukogawa Women’s University, Nishinomiya, Japan, July 14-16, 2012, Proceedings, pp. 133-138	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied relationships between Feng-Shui and landscapes of Changan and Heijo-kyo.Changan does not accord with an ideal Feng-Shui model, while Heijo-kyo accords with an ideal Feng-Shui model partially. Neither Changan nor Heijo-kyo has big mountains on the north side, and there is no interpretation of the Dragon Pulse.
6.Enclosed Spaces for Seoul and Kyoto based on Feng-Shui(査読付)	共	2011年10月	Archi-Cultural Translations through the Silkroad	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied the relationships between the landscapes of Seoul and Kyoto and their interpretations based on Feng-Shui using a three-dimensional model. Both Seoul and Kyoto have enclosed spaces, but we confirmed different interpretations based on Feng-Shui. The shapes of Shu-zan and So-zan behind Ketsu characterize Seoul’s landscape. The Four Celestial Animals are all associated with mountains, because they are important in Seoul. Even though Kyoto is more enclosed by

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
				mountains than Seoul, the Four Celestial Animals are not associated with mountains, except for the Black Tortoise. In Kyoto, the concept of the Dragon Pulse is not seen, but its influence was conspicuous in Seoul. Perhaps the concept of the Dragon Pulse failed to spread to Japan because Japan is an island country that is not connected to China by land.
7.Enclosed Spaces for Seoul and Kaesong based on Feng-Shui(査読付)	共	2011年3月	Institute of Turkish Culture Studies, Intercultural Understanding Vol.1, pp.89-97	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki This paper studies the relationships between the landscapes of Seoul and Kaesong and their interpretations based on Feng-Shui. In this study we consider the visual relationships between actual landscapes and interpretations based on Feng-Shui using a three-dimensional terrain model. Both Seoul and Kaesong have visually enclosed spaces.
8.接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重(査読付)	共	2004年07月	日本建築学会構造系論文集 No.581, pp.127-134	天畠秀秋，聲高裕治，井上一朗 This paper presents out-of-plane buckling load of buckling-restrained braces including its joints. There are two parameters which affect out-of-plane buckling load; (1) flexural stiffness of gusset-plate between the end of ribs at gusset-plate and surface of girder-flange, (2) position of beams for preventing lateral buckling of girdar. Analytical model for researching out-of-plane buckling load is consisted of rotational springs which represent the former parameter, horizontal spring which represents the latter parameter, and three different flexural elements which reoresent buckling-restrained part and both joints. As a result, the warning of out-of-plane buckling to brace joints without either ribs reaching girder or beams fbr preventing lateral buckling is pointed out.
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
1.とんぼりの賑わい 道頓堀の分節した道と緑化と立面デザイン	共	2024年8月30日	2024年度 日本建築学会大会(関東) 建築デザイン発表会梗概集	石田光乃，岡﨑甚幸，天畠秀秋，池澤萌子 設計指導を担当。
2.滝畑に昔日の面影を映す	共	2024年8月30日	2024年度 日本建築学会大会(関東) 建築デザイン発表会梗概集	熱田かほり，岡﨑甚幸，天畠秀秋，池澤萌子 設計指導を担当。
3.SfM とLiDAR による3 次元モデルと3 次元GIS を用いた終末期古墳の景観の可視化方法　-中山荘園古墳を対象として-	共	2024年8月30日	2024年度 日本建築学会大会(関東) 学術講演会梗概集	天畠秀秋，岡﨑甚幸 畿内の終末期古墳の1 つである中山荘園古墳を対象として、SfM とLiDAR 測量による高精細な3次元モデルと3 次元GIS を用いて、古墳から見た景観および古墳を見た景観の可視化方法について検討し、景観シミュレーションとして有効な方法を示した。
4.組立解体可能な創作茶室「廻夕亭」	共	2024年8月30日	2024年度 日本建築学会大会(関東) 建築デザイン発表会梗概集	財田みなの，清川 明純，竹村 美咲，吉田 雅蓮，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，田川浩之，天畠秀秋 設計指導を担当。
5.用途混在による賑わうまち	共	2024年8月29日	2024年度 日本建築学会大会(関東) 建築デザイン発表会梗概集	森帆乃花，岡﨑甚幸，天畠秀秋，池澤萌子 設計指導を担当。
6.瞑想の景色　うつろいゆく生命の姿	共	2024年8月29日	2024年度 日本建築学会大会(関東) 建築デザイン発表会梗概集	児玉さくら，岡﨑甚幸，天畠秀秋，池澤萌子 設計指導を担当。
7.組立解体可能な創作	共	2023年9月	2023年度 日本建築	北野琴音，岩本安海香，鷹取ほのか，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，天畠秀

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
茶室「籠趣庵」			学会大会(近畿) 建築デザイン発表会梗概集	秋 設計指導を担当。
8.組立解体可能な創作茶室「光紙庵」	共	2023年9月	2023年度 日本建築学会大会(近畿) 建築デザイン発表会梗概集	中村菜瑠光，小川さやか，山岡寧々花，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，天畠秀秋 設計指導を担当。
9.組立解体可能な創作茶室「翳弍庵」	共	2022年9月	2022年度 日本建築学会大会(北海道) 建築デザイン発表会梗概集	神谷美穂，有馬佳恵，河村優果，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，天畠秀秋 設計指導を担当。
10.組立解体可能な創作茶室「緑光庵」	共	2022年9月	2022年度 日本建築学会大会(北海道) 建築デザイン発表会梗概集	平塚晴菜，岡﨑甚幸，鳥巣茂樹，天畠秀秋 設計指導を担当。
11.憩いの場となる都市河川沿いの空間構成の特徴　－夙川オアシスロードの断面実測と植栽分布の調査を通して－	共	2022年9月	2022年度 日本建築学会大会(北海道) 学術講演会梗概集	中村菜瑠光，岡﨑甚幸，山本親，天畠秀秋，船戸理磨子，池澤萌子 本研究では断面実測と植栽分布の調査により、夙川オアシスロードの空間構成の特徴として以下の点を明らかにした。1）植栽を挟んだ片側 3 本の立体遊歩道：川沿いに自由に経路選択し、連続して歩くことができる遊歩道が立体的に構成される。2）ヒューマンスケールの護岸断面：歩きやすくて、川辺を近くに感じられるスケールの断面構成である。3）両岸一体となる空間構成：自由に対岸へ行き来することができ、川上には甲山を望むことができる。4）植栽が川に向かって段階的に配置された空間構成：遊歩道中段には川に沿ってグランドカバーや低木があり、その外側には中木や高木がある川に向かって段階的に配置された空間構成である。
12.都市に染み出す川辺みち	共	2022年9月	2022年度 日本建築学会大会(北海道) 建築デザイン発表会梗概集	中村菜瑠光，岡﨑甚幸，山本親，天畠秀秋，船戸理磨子，池澤萌子 設計指導を担当。
13.ベニスに建つ海上のホテル　-繋がる広場と路地空間-	共	2021年9月	2021年度 日本建築学会大会(東海) 建築デザイン発表会梗概集	井上栞、岡﨑甚幸、天畠秀秋、山口 彩 設計指導を担当。
14.崖地に添うリゾートホテル	共	2021年9月	2021年度 日本建築学会大会(東海) 建築デザイン発表会梗概集	神谷美穂、岡﨑甚幸、天畠秀秋、山口 彩 設計指導を担当。
15.宇治平等院 東伽藍 －夕日を望む祭祀空間－	共	2021年9月	2021年度 日本建築学会大会(東海) 建築デザイン発表会梗概集	青木友里、岡﨑甚幸、天畠秀秋、山口 彩 設計指導を担当。
16.月を廻る庭	共	2021年9月	2021年度 日本建築学会大会(東海) 建築デザイン発表会梗概集	大塚明日香、岡﨑甚幸、天畠秀秋、山口 彩 設計指導を担当。
17.岩窟に仏をみる ―耶馬渓古羅漢に懸ける仏堂―	共	2021年9月	2021年度 日本建築学会大会(東海) 建築デザイン発表会梗概集	梶山奈恵、岡﨑甚幸、天畠秀秋、山口 彩 設計指導を担当。
18.大和の終末期古墳から見た景観の類型化 -SfMと3次元GISによる景観シミュレーションを通して-	共	2020年9月	2020年度 日本建築学会大会(関東) 学術講演梗概集	天畠秀秋，岡﨑甚幸 本論では、大和における15基の終末期古墳を対象として、SfMと3次元GISを用いて古墳から見た景観の可視化を行い、古墳から見た景観を分析した結果、以下を明らかにした。①古墳から見た景観を以下の3つの類型に分類した。類型1:パノラマで遠景の山並みが見えるもの（7基)、類型2:中景の丘陵の間から遠景の山並みが見えるもの(7基)、類型3:遠景の山並みがほとんど見えないもの（1基)。②古墳の軸線の方位がパノラマで遠景の山並みが見える方向と一致するもの

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				は7基(類型1)、一致しないものは8基(類型2,3)であった。特に、類型1の神明神社古墳、石のカラト古墳、平野塚穴山古墳は軸線の方位が遠景の山並みへの眺望景観との関係で決定された可能性が高いと考えられる。
19.SfMによる高精細な3次元モデルと3次元GISを用いた終末期古墳から見た景観の可視化方法 －お亀石古墳を対象として－	共	2019年9月5日	2019年度日本建築学会大会（北陸）学術講演会	天畠秀秋、岡﨑甚幸 本論では、SfMによる高精細な3次元モデルと3次元GISを用いてお亀石古墳から見た景観の可視化を行い、古墳の石槨や墳丘の形、軸線と眺望の関係の分析が可能な方法を示した。また以下の3点を明らかにした。①UAV空撮写真のSfMとcm精度のGNSS測量により、古墳の微地形も再現可能な、ジオリファレンスされたDSM(最高で約1 cm解像度)・オルソ画像(最高で約0.5 cm解像度)を作成できる。②3次元GISを用いて高精細なDSM・オルソ画像を国土地理院5m DEM・オルソ画像に重ねることにより、現在周辺の樹木等の障害物で眺望が遮られていても、古墳から見た景観を可視化できる。③樹木等の障害物により自動操縦で撮影高度を低くすることが困難な場合、自動操縦より手動操縦の方が、古墳の石槨や墳丘の形の再現性が高いDSM・オルソ画像が作成できる。
20.門と本堂の軸線と山の関係に着目した社寺参詣曼荼羅の空間構成の特徴　寺院を対象として	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）学術講演会	太田紅葉，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 16 点の寺院の社寺参詣曼荼羅の空間構成を、門と本堂の軸線と山の関係に着目して分析し、以下を明らかにした。①軸線と山との関係に着目し、社寺参詣曼荼羅の空間構成を以下 3 つに分類。分類 a 山が背景として軸線上にある6点、分類 b 山が境内の一部として軸線上にある7 点、分類 c 山が軸線上にない3 点。②山と境内の関係は、分類 a：山が境内の背景としてあり境内と離れている、分類 b：山が境内を内包している、分類 c：山が分類 a よりさらに境内から離れている、という特徴があった。③社寺参詣曼荼羅の空間構成の特徴として、1) 門と本堂、山が軸線上にあるものが 16 点中 13 点(分類 a, b)と 8割、2)軸線の始点は、水面が 16 点中 6点と 4 割、門が 5 点と 3 割、が挙げられた。境内を構成する門、本堂と山や海・川・湖等の自然要素が関連付けられて描かれ理想的な宗教空間が表現されていると考えられる。
21.深山幽谷　山水画の三遠を用いた空間表現	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会	尾上果帆，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
22.自然の曲線に着想を得た美術館	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会	粟津里紗子，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
23.蓮華ドーム	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会	楠川佳歩，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
24.越天楽　旋律の空間化	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会	立川紀子，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
25.タフティ＝バヒ寺院の復元案	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会	上田紗希,岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
26.社寺参詣曼荼羅に着想を得た理想の宗教空間	共	2019年9月	2019年度日本建築学会大会（北陸）建築デザイン発表会	太田紅葉，岡﨑甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
27.Method of Visualizing Landscapes from Tombs of the Final	共	2019年6月25日	5th International Conference on Archi-Cultural	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We visualized landscapes from the Koguchiyama Tomb with a high-definition 3D model by SfM and 3D GIS for analyzing the relationship of the axial direction of the tomb, and the

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
Kofun Period in the Woods with a High-Definition Three-Dimensional Model by SfM and Three-Dimensional GIS: A Case Study of Koguchiyama Tomb in the Kawachi Area(査読付)			Interactions through the Silk Road	view. We also clarified the following points:1) By SfM with photographs from the sky and under the tree crown by a small UAV and a cm accuracy GNSS survey, we generated georeferenced DSMs with about 0.2-cm resolution and orthophotos with about 0.1-cm resolution at most, which can express the microtopography of the tomb in the woods. 2) With overlaying DSMs and orthophotos by SfM on a 5-m DEM and orthophotos by GSI using 3D GIS, we can quickly visualize landscapes from the tomb, although the view is now almost totally obstructed by the surrounding trees.
28.Vortex Arena	共	2018年9月3日～9月6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	藤井祐帆，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
29.斜面と重なり自然と沿う	共	2018年9月3日～9月6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	橋本夏実，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
30.VERDURE －高層緑化建築－	共	2018年9月3日～9月6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	楠原愛梨，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
31.観瀑堂	共	2018年9月3日～9月6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	中村芽生，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
32.天へと向かう聖堂	共	2018年9月3日～9月6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	吉村陶子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
33.パブロ・ピカソ美術館	共	2018年9月3日～9月6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	原沢朋花，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
34.Henry Moore Museum	共	2018年9月3日～6日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北)	八木みちる，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
35.公共建築の中にある「個」の空間	共	2017年8月31日～9月3日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(中国)	永田瑞希，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
36.エル・カズネの前に建つ劇場	共	2017年8月31日～9月3日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(中国)	神本希美，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
37.祈りの道を辿る　ー海を望む教会堂へのアプローチの提案ー	共	2017年8月31日～9月3日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(中国)	平田望留，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
38.バーミヤーン仏教寺院 復元設計 計画	共	2017年8月31日～9月3日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(中国)	白原綾乃，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
39.Serpente Tower	共	2017年8月31日～9月3日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(中国)	池澤萌子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
40.Migration Architecture	共	2017年8月31日～9月3日	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(中国)	大原こころ，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋，山口彩 設計指導を担当。
41.Surrealism Architecture	共	2016年08月26日	日本建築学会大会建築　デザイン発表梗概集(九州)	奥田まり，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
42.木造のゴシック建築	共	2016年08月26日	日本建築学会大会建築　デザイン発表梗概集(九州)	磯上奈緒美，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
43.海触洞を望む拝殿	共	2016年08月26日	日本建築学会大会建築　デザイン発表梗概集(九州)	野崎奈緒美，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
44.都市の森	共	2016年08月25日	日本建築学会大会 建築　デザイン発表梗概集(九州)	平嶋奈弥，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
45.つむぐグスク	共	2016年08月25日	日本建築学会大会 建築　デザイン発表梗概集(九州)	吉野友里恵，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
46.LANDSCAPE ANALYSIS OF TOMBS OF THE FINAL KOFUN PERIOD IN THE KAWACHI AREA USING A THREE--DIMENSIONAL MODEL	単	2016年7月16日	4th International Conference on Archi-Cultural Interactions through the Silk Road	Using a three-dimensional model, I analyzed the natural landscape views from 20 tombs of the Final Kofun period located in the Kawachi area to determine their characteristics and the relationship between landscape and each axial direction. I clarified the following: 1. Characteristics of 20 tombs were classified into the following four landscape types: 1) a distant panoramic view of the Kongo and/or Kii Mountains; 2) an intermediate view of the surrounding mountains and a divided distant view of the Kongo and/or Kii Mountains; 3) having an intermediate and/or short-distance view of the surrounding mountains and a partially distant view; and 4) a distant panoramic view of Osaka Bay. 2. Axial directions of almost all of these tombs were selected based on their mountain views.
47.水の廻る町	共	2015年09月04日	日本建築学会大会 学術講演梗概集 2015(建築デザイン)，pp.72-73	鈴木絢美，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
48.カテナリーの教会	共	2015年09月04日	日本建築学会大会 学術講演梗概集 2015(建築デザイン)，pp.50-51	今治こみ加，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
49.海に浮かぶ集落	共	2015年09月04日	日本建築学会大会 学術講演梗概集 2015(建築デザイン)，pp.130-131	羽間冬香，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
50.自然光を導き入れる展示空間	共	2015年09月04日	日本建築学会大会 学術講演梗概集 2015(建築デザイン)，pp.234-235	今川泰江，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
51.装飾とカーテンウォールによる建築	共	2015年09月04日	日本建築学会大会 学術講演梗概集 2015(建築デザイン)，pp.254-255	谷なつき，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 設計指導を担当。
52.Initial Heritage Impact Assessment for the Project for Construction of the Petra Museum,　Jordan	共	2014年11月	18th ICOMOS General Assembly 2014, Symposium : Heritage and Landscape as Human Values, Florence, Italy 14.11.10-14	Rei HARADA, Kazuya YAMAUCHI, Shigeyuki OKAZAKI, Yasuyoshi OKADA, Kazushi HAMAZAKI, Hideaki TEMBATA, Kensuke OHISHI, Mitsuhiro OSAKI, Adel ZUREIKAT
53.広重の浮世絵の風景画に見られる俯瞰景の投影法による分類	共	2014年9月14日	日本建築学会大会 学術講演梗概集(近畿) 2014年9月 pp.547-548	本田くるみ、岡﨑甚幸、鈴木利友、天畠秀秋 広重の浮世絵『名所江戸百景』119点のうち、俯瞰景が描かれた72点を対象とし、投影法に着目することにより以下4種類に分類し、それぞれの構図の特性を明らかにした。 ①軸測投影的俯瞰景：交互に繰り返される川や橋の先に遠景の富士がある。②斜投影的俯瞰景：水平線と左上がりの斜線と近景によって構成される。③立面の集合による俯瞰景：地平または水平線のある俯瞰景で、見るものに正対する各要素が手前から奥へ大きさを変えて配置される。④透視投影的俯瞰景：消失点が1つのもので構成される。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
54.コミュニティ衰退における社会的変遷及び生活環境的要因 ―堺市東浅香山地域の実態調査―	共	2014年9月13日	日本建築学会大会学術講演梗概集(近畿) 2014年9月 pp.431-432	田中佑奈、岡崎甚幸、鈴木利友、天畠秀秋 堺市東浅香山地域の7世帯を対象とした実態調査を行った結果、昭和30年～平成25年の間の、コミュニティ衰退における生活環境的要因と社会変遷の要因として、以下が明らかになった。 1.生活環境的要因 ･昭和30年頃：①各住居の増改築、駐車場の所有→近隣と共有の路地の減少、居住空間の閉鎖化。②子どもの増加による私室（全軒平均2室）増加→その後の家族人数の現象による空き室化。 ･昭和30～55年：①各住居の風呂・テレビ・空調の普及とスーパーや大型商業施設の出店(昭和45年頃)→市場、店舗、銭湯の衰退および地域のライフラインや趣味、情報共有の場の減少。②昔から住む住人の減少(当時から半減)、若い世代や主婦の減少20代まで(73％→18％)による地域コミュニティの担い手の減少。 2.社会的変遷の要因 ･昭和30～55年：人口増加、電化製品普及、第2,3次産業就業者増加、大学進学率上昇、女性労働力人口増加
55.海上の楽園　－浮体式セミサブ型 構造を用いたリゾートホテル－	共	2014年09月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(近畿), pp.280-281	吉村裕子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 埋立てが不要な海洋建築として、リゾートホテルの設計を行った。設計にあたっては、海洋生態系に対する負荷の低減と、地震や津波、高潮などの災害に対する安全性の確保を重視して、構造形式に浮体式セミサブ型を採用した、本構造はリゾートホテルに限らず、他にもさまざまな用途の建築物、ひいては空港などの土木構造物にも応用できると考えられる。（設計指導担当）
56.都市の洞窟	共	2014年09月	日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(近畿), pp.278-279	村上友理子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 自然と共存できる現代の建物の新たな形態として「都市の洞窟」を提案した。敷地は周囲を四角い建物とアスファルトの道路に囲まれた、多くの自動車が行き交う都市の一角である。ただ大きな山を作るだけでなく、様々な要素を用いることで、場面を区切り、ヒューマンスケールに合わせた計画を行う。斜面の土は、芝や木の根で土止めを行う。人が訪れる南側は勾配をなだらかに、北側は石垣や壁面を用いることで隣接するビル群と調和させた。また商店街の通りの顔となる入り口部分にトンネルを用いた。西側には大きな塔を建てることで、大通りを自動車で行き交う人々の目にも留まるよう計画した。（設計指導担当）
57.藤原京、平城京、平安京の囲繞空間の山並みと水系	共	2013年8月30日	2013年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	天畠　秀秋、岡﨑　甚幸 藤原京、平城京、平安京の囲繞空間を対象として、3次元地形モデルを用いた山並みと水系の分析により、以下が明らかになった。 ①藤原京、平城京、平安京の囲繞空間は、いずれも以下の異なる特徴をもっていた。藤原京は南側が高く北側が低く、北側の耳成山が独立した山で北西と北東は開けており、水を集めるために有効な地形ではない。平城京は南側に比べて北側が高いが、北側の奈良山の標高が低いために後ろ三方が囲われているとは言えず、水を集めるために有効な地形ではない。平安京は後ろ三方が高い山に囲われているため、南側に比べて北側が高く、南側に水を集めることができる地形である。 ②畿内全域から見ると、平安京の囲繞空間である京都盆地は、藤原京、平城京の囲繞空間である奈良盆地に比べて、流れ込む水の流域面積が約9倍であり、また地下水賦存量も多かった。
58.新国会議事堂	共	2013年08月	2013年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	北岡 敦子、岡﨑 甚幸、鈴木 利友、天畠 秀秋 日本の伝統建築にみられる日本的空間の要素として、屋根、影、庇、軒、彫塑的構成、前面吹き放し柱列、絵画的構成、伽藍配置、小屋組み、組物、素材の違い、回遊式庭園の13の要素に着目し、日本の象徴的な存在としてふさわしいデザインの新しい国会議事堂を設計して提案した。設計指導を担当した。
59.クルアーンにみられるイスラームの自然観に関する研究	共	2013年08月	2013年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	山口　彩、櫻井 美里、天畠　秀秋、岡﨑　甚幸 イスラームの聖典であるクルアーンの記述に含まれる自然に関する11個の言葉(山､川､月､星､光､木､雨､水､火､天､地)に着目し、各言葉および､その言葉の用例を抽出した。 次に、11個の言葉に関するクルアーンの節を読み､各用例の分類し、神との関わり方について考察

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				した。①クルアーンにおいての自然に関する言葉は、神がいかに超越的存在であるということを表し、その自然を通して人間は､神に対して尊敬や感謝、畏怖の念を抱いた。②神は自然を通して人間に救済や罰を与え、自らの行為の善悪を認識させた。③クルアーンにはギリシアの自然観のような自然、神、人間が統一体であるという概念はなかった。④中世キリスト教にみられる、人間が自然を支配し､物資として扱う、階層的分裂の概念もクルアーンには存在しない、ことを明らかにした。
60.CEZANNEの表現手法を用いた空間設計		2012年09月	2012年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	伊勢 文音、天畠 秀秋、鈴木 利友、岡崎 甚幸 １．セザンヌの絵画手法を、写実主義との比較によって考察した結果、写実主義が主観を排除し、現実をありのままに再現することを目指しているのに対し、セザンヌの絵画が知覚に基づく表現を重視し、鑑賞者がその絵画を個人のイメージに還元することを目的としていることを明らかにした。 ２．アール・ローランの研究に基づきセザンヌの様々な表現手法を分類し、その体系を明らかにしている。その上で設計では、奥行きの知覚として『構成要素の重なりによる３次元化』に着目したギャラリーの設計、知覚の恒常性として『形のデフォルマシオン』に着目した集合住宅の設計を提案した。
61.子どもの発達と遊び空間	共	2012年09月	2012年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	西田祥子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 子どもの発達に応じた遊び空間を設計し提案した。遊び空間を設計するにあたり、かくれる、のぼる、すべる、ぶらさがる、くぐる、とぶ、やすむ、わたる、の8 つの行為と、身体の各部の成長による遊び空間の変化を明らかにして、設計に応用できることを示した。設計指導を担当。
62.平城京の囲繞空間と風水思想	共	2012年9月	2012年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	天畠　秀秋、岡崎　甚幸 3次元地形モデルを用いることにより、平城京の囲繞空間の風景と風水思想における解釈の関係を考察して以下のことを明らかにした。(1)第一次大極殿から南方を見た風景は三方が山に囲われているが、北側の奈良山は低い丘である。(2)朱雀大路の基準とされる越智岡丘陵の選定根拠が、風景の観点からは曖昧である。(3)十字軸の基準が周辺の山との関係から見い出せない。(4)平城京は、四神相応であるとされるが、奈良盆地全体で見ると、南側が高く風水思想の理想的な囲繞空間の特徴と一致しない。
63.RELATIONSHIPS BETWEEN FENG-SHUI AND LANDSCAPES OF CHANGAN AND HEIJO-KYO	共	2012年7月	Archi-Cultural Translations through the Silk Road, 2nd International Conference, Mukogawa Women's University, Nishinomiya, Japan, July 14-16, 2012	Hideaki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied relationships between Feng-Shui and landscapes of Changan and Heijo-kyo.Changan does not accord with an ideal Feng-Shui model, while Heijo-kyo accords with an ideal Feng-Shui model partially. Neither Changan nor Heijo-kyo has big mountains on the north side, and there is no interpretation of the Dragon Pulse.
64.泉南一丘団地における地域コミュニティの再構築による団地再生の提案	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	小川真理子，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 大阪府泉南市の泉南一丘団地を例に、高齢化社会に対応し、住民同士が地域社会を築いていける団地の再生手法、および環境的視点に立った、ストックを活用した再生計画の検討を行った。その結果、囲まれた住空間の形成、「集いの場」となるメインストリートの設置、高齢者向け住居の設置、共同施設の設置、区間内部に託児所や商店の設置、オープンスペースの活用を提案できた。設計指導を担当。
65.感性による装飾	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(建築デザイン)	松枝知花，岡崎甚幸，鈴木利友，天畠秀秋 人間のスケールに合う小さな部材を積層することにより、『装飾により感性を刺激する結婚式場』を設計した。柱に付属するタイルにも300㎜の基準寸法を用いることにより、柱の大きさに合うタイル装飾とした。取り外し可能なPCコンクリートを用いることにより、再利用可能で環境にも配慮した構造体となっている。システムを用い

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
				てブロックを積層させることにより、ブロックの集合体が建物の表情となって豊かな空間となる。設計指導を担当。
66.クルアーンにみられる雨の記述と楽園の関係性について	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集	櫻井美里，天畠秀秋，鈴木利友，岡崎甚幸 イスラーム教徒の自然観の根幹がクルアーンに基づいていると仮定し、文中に多用されている雨に関する記述をクルアーンから抜き出した。そして雨がもたらす効果とイスラーム教庭園との関係を考察した。その結果、クルアーンの文中にも多用されている雨は、乾燥地帯に広がったイスラーム教徒の生活や庭園と密接な関係にあること、神への信仰心へと繋がっていることが明らかになった。
67.京都の囲繞空間と風水思想	共	2011年08月	2011年度 日本建築学会大会 学術講演会	天畠秀秋，岡崎甚幸 平安京の囲繞空間と四神相応説に着目し、京都の地勢図および旧大極殿跡からの京都盆地の風景を可視化することで既往研究における風水思想にもとづいた解釈と実際の風景との関係を考察した。その結果、(1) 大極殿跡から見た風景は三方がなだらかな山に囲われ南が開けていること、(2) 平安京の南北軸の基準となった船岡山は、京都の囲繞空間全体から見てその存在が特別に際だっているわけではないことなどを明らかにした。
68.Enclosed Spaces for Seoul and Kyoto based on Feng-Shui	共	2011年03月	Archi-Cultural Translations through the Silk Road, International Conference, Bahcesehir University, Istanbul, Turkey, March 16-18, 2011	Hidaeki Tembata, Shigeyuki Okazaki We studied relationships between Feng-Shui and landscapes of Changan and Heijo-kyo.Changan does not accord with an ideal Feng-Shui model, while Heijo-kyo accords with an ideal Feng-Shui model partially. Neither Changan nor Heijo-kyo has big mountains on the north side, and there is no interpretation of the Dragon Pulse.
69.祇園祭における鉾の建築的特性について	共	2009年08月	2009年度 日本建築学会 学術講演梗概集	平野 麻衣子、大谷 孝彦、天畠 秀秋、鈴木 利友、岡崎 甚幸
70.稲荷山におけるお山詣りの空間シークエンス　－稲荷山のお山詣りの信仰空間特性に関する研究　その3－	共	2008年09月	2008年度 日本建築学会大会 学術講演会（中国）　E-2, pp.769～770, 2008.9	奥野千晴、岡崎甚幸、大谷孝彦、天畠秀秋 稲荷山のお山詣りの参道空間を14区間に分け、各区間に対して、地形、鳥居、開閉、明暗の4つの項目および代表的な写真をまとめ整理した。その結果、お山詣りの参道空間は各区間ごとに地形の起伏、植生、鳥居によって空間感情の異なる参道空間シークエンスであり、その参道を巡ることによって期待感や畏怖感などの感情の起伏を生む効果があることが明らかになった。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
71.稲荷山におけるお山詣りの空間構造　－稲荷山のお山詣りの信仰空間特性に関する研究　その2－	共	2008年09月	2008年度 日本建築学会大会 学術講演会（中国）E-2, pp.767～768, 2008.9	大谷孝彦、岡崎甚幸、天畠秀秋、奥野千晴 稲荷山の歴史的な経緯に着目し、京都盆地における稲荷山の地理的特徴を明らかにした。稲荷山は、古代は神奈備信仰にもとづく祭祀の場であった。稲荷山の空間は、(1)外界から隔離された尾根に囲われた領域を持つこと、(2)さらにそれが人間が信仰をしやすい小規模の空間であること、(3)三つの峰を持つ三つ組の構造で多様な場の意味づけに対応できることが明らかになった。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
72.京都盆地における稲荷山の地理的特性　－稲荷山のお山詣りの信仰空間特性に関する研究　その1－	共	2008年09月	2008年度 日本建築学会大会 学術講演会（中国）E-1, pp.765-766, 2008.9	天畠秀秋、岡崎甚幸、大谷孝彦、奥野千晴 稲荷山の歴史的な経緯に着目し、京都盆地における稲荷山の地理的特徴を明らかにした。稲荷山は、古代は神奈備信仰にもとづく祭祀の場であった。稲荷山の空間は、(1)外界から隔離された尾根に囲われた領域を持つこと、(2)さらにそれが人間が信仰をしやすい小規模の空間であること、(3)三つの峰を持つ三つ組の構造で多様な場の意味づけに対応できることが明らかになった。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
73.京都とソウル　-風水思想と歴史的都市の囲繞空間-	単	2004年10月	関西文化研究センター主催の第5回MKCRセミナー	2004年8月に日本建築学会大会で口頭発表したソウルの囲繞空間と風水思想の解釈の研究内容に加えて、その比較対象として京都をとりあげ、風水思想と歴史的都市の囲繞空間に関する考察を発表した。
74.ソウルの囲繞空間の	共	2004年08月	2004年度 日本建築	天畠秀秋,岡崎甚幸，柳沢和彦,鏡千恵子

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
視覚的特徴　－CG地形モデルを用いた風水空間の視覚的特徴に関する研究　その1－			学会大会 学術講演梗概集(北海道) F-1, pp.495～496, 2004.8	ソウルの坐向論議の対象となった二つの案を視覚的な面から分析することにより、朝山から主山の眺めが坐向決定の要因になりうることを明らかにした。このことり、囲繞された空間の中だけではなく、その空間の外からも中を評価する風水思想の世界観が考察された。風水思想における「囲繞」は視覚的には連なった山として現れ、囲繞の空間と視覚的な山の連続性には深い関連があることが明らかになった。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
75.視覚的特徴から見たソウルの坐向論議－CG地形モデルを用いた風水空間の視覚的特徴に関する研究　その2－	共	2004年08月	2004年度 日本建築学会大会 学術講演梗概集(北海道) F-1, pp.497～498, 2004.8	鏡千恵子,岡崎甚幸,柳沢和彦,天畠秀秋 ソウルのCG地形モデルを用いることにより風水思想の囲繞の空間の視覚的特徴を考察する方法を示した。明堂内の一視点からのパノラマを分析することにより、周辺の山勢以外の視界に入る遠景の山も、視覚的に囲繞の空間を構成する要素として含まれることがわかった。また、ソウルの主山とされる北岳の形状が、他の山並に比較して際だった特徴を持っていることがわかった。重要建築である景福宮をより象徴的に印象づけるための主山の選定方法であることが考察された。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
76.集団の探索行動における会話の分類　－情報交換を伴う探索行動に関する研究　その５－	共	2003年09月	2003年度　日本建築学会大会　学術講演梗概集(東海) E-1, pp.879～880, 2003.9	鈴木利友，岡崎甚幸,天畠秀秋 集団の探索行動実験において多くの被験者が交わす会話は、質問と回答、主語、場の記号、格、述語によって構成される限られた組み合わせに類型化できることを示した。またその使われ方は話し手の行動や状態と密接に関係しつつ変化することを明らかにした。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
77.集団の探索行動における会話の類型化－情報交換を伴う探索行動に関する研究　その６－	共	2003年09月	2003年度　日本建築学会大会　学術講演梗概集(東海) E-1, pp.881～882, 2003.9	鈴木利友，岡崎甚幸,天畠秀秋 集団の探索行動実験で交わされる会話を、質問と回答、および主語や述語の種類に着目して分類した。また空間を言語化し、述語を具体化する言葉を場の記号と定義し、その種類を調査した。そして、話し手と聞き手の身体が同じ空間にいる状況では、互いの身体の位置関係に依存する表現が多く用いられることを明らかにした。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
78.接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈に関する研究（その2　座屈荷重解析方法および解析結果）	共	2002年08月	2002年度　日本建築学会大会　学術講演梗概集(北陸) C-1構造III, pp.565～566, 2002.8	上村健二，天畠秀樹，聲高裕治，井上一朗 本論では、接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重に対して接合部の詳細およびその周辺部材を考慮した解析モデル(その1)により、全体座屈荷重および接合部座屈荷重を求めた。その結果、接合部詳細によっては、構面外座屈の危険性があることが確認された。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
79.接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈に関する研究（その1　接合部詳細を考慮した解析モデル）	共	2002年08月	2002年度　日本建築学会大会　学術講演梗概集(北陸) C-1構造III, pp.563～564, 2002.8	井上一朗，聲高裕治，上村健二,天畠秀秋 履歴型ダンパーとして使用される座屈拘束ブレースは、座屈拘束部と両端の接合部で構成される。現状の設計では、座屈拘束部の全体の座屈拘束条件に関して検定されているが、接合部の構面外座屈に対しては配慮していない。本論では、接合部の詳細やその周辺部材が座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重に及ぼす影響を明らかにすることを目的として、接合部を含む座屈拘束ブレースの解析モデルを作成し、接合部詳細を考慮した境界条件および解析パラメータを整理した。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
80.接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈に関する研究	共	2002年06月	日本建築学会近畿支部研究報告集. 構造系 (42), 249-252, 2002-05-24	上村健二,天畠秀秋，聲高裕治，井上一朗 本論では、接合部を含む座屈拘束ブレースの構面外座屈荷重に対して接合部の詳細およびその周辺部材を考慮した解析モデルにより、全体座屈荷重および接合部座屈荷重を求めた。その結果、接合部詳細によっては、構面外座屈の危険性があることが確認された。（共同研究につき本人担当部分抽出不可能）
３．総説				
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1.［家具作品］甲子園会館 講義室の特注家具	共	2021年3月		岡崎甚幸，天畠秀秋 景観建築学科・景観建築学専攻の教育、研究等に必要な家具として甲子園会館の講義室に建築のデザインと調査する特注家具(講義机、椅子、AVワゴン)を設計し、整備した。
2.［家具作品］景観建築スタジオ 西館 スタ	共	2021年3月		岡崎甚幸，天畠秀秋 景観建築学科・景観建築学専攻の教育、研究等に必要な家具として

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
ジオ、ホール、講評室の特注家具				景観建築スタジオ 西館のスタジオ、ホール、講評室に建築のデザインと調査する特注家具(製図机、仕切りパネル、ワゴン、AVワゴン、展示パネル、模型展示台、演台)を設計し、整備した。
3.［家具作品］景観建築スタジオ 東館 スタジオ、ラウンジの特注家具	共	2021年2月		岡﨑甚幸，天畠秀秋 景観建築学科・景観建築学専攻の教育、研究等に必要な家具として景観建築スタジオ 東館のスタジオ、ラウンジに建築のデザインと調査する特注家具(製図机、仕切りパネル、ワゴン、AVワゴン、造作ソファ、テーブル、椅子)を設計し、整備した。
4.［建築作品］T邸	単	2017年04月		戸建住宅。基本設計、実施設計、現場監理を担当。
5.［建築作品］花山天文台　将来構想	共	2015年02月 ～	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~kwasan/	岡﨑 甚幸，杉浦 徳利，天畠 秀秋，山口彩，川崎祐華 京都大学　花山天文台の将来計画。花山天文台には、本館、別館、歴史館、太陽館、新館の5つの建物があり、本館は、建築家　大倉三郎が設計した、45cm屈折望遠鏡が設置されたドームを持つ建物。現存する建物はそのまま残し、展示室を併設したプラネタリウム棟や、野外劇場、広場、店舗、カフェ、宿泊棟などを提案した。敷地調査、既存建築や敷地の3Dモデリング、野外劇場の計画およびホームページの制作を担当。
6.［建築作品］ペトラ博物館　基本計画2014	共	2014年08月	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~petra/	岡﨑 甚幸，天畠 秀秋，伊勢 文音，杉浦 徳利 ヨルダン王国の世界遺産であるペトラに建設する博物館の基本計画2014。ペトラ博物館のコンサルタント計画案の規模を踏襲し、コンサルタント案の問題点を解決する改善案として、案1：展示室の床レベルが斜面に沿う案、案2：展示室の床ベル統一案を設計した。全体の統括、案1、案2の図面の制作を担当。
7.［建築作品］ペトラ博物館　基本計画2013	共	2013年10月	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~petra/	岡﨑 甚幸，天畠 秀秋，本郷 佑奈，山口 彩，伊勢 文音，杉浦 徳利，猪股 圭佑，森本 順子，鈴木利友 ヨルダン王国の世界遺産であるペトラに建設する博物館の基本計画2013。博物館の環境評価に際して、前回構想された案を2300㎡に縮小し、同時にデザインをさらに検討し、前回の構想を継承する案(案1: 前回縮小案)と、それ以外のほかの３案(案2: 曲面壁2階案、案3: 平面壁平屋案、案4: 曲面壁平屋案)を設計し、それらの環境評価を行った。現地調査、CADと現地写真の合成による景観シミュレーションの統括、案1、案2の設計、ホームページの作成を担当。
8.［建築作品］ペトラ博物館　基本計画2012	共	2012年10月	http://www.mukogawa-u.ac.jp/~petra/	岡﨑 甚幸，森本 順子，山口 彩，天畠 秀秋，鈴木利友 ヨルダン王国の世界遺産であるペトラに建設する博物館の基本計画2012。無機的な箱とするのではなく、ナバティア人の文化や、その後のローマ植民地都市時代の文化の香りを醸し出す場所となるように、荒々しい赤味の砂岩の肌、そこに切り込まれた墓の幾何学的造形、ローマ的様式の柱や庇などにより構成。既存のビジターセンターに隣接する敷地に計画。CADによる外観透視図、内観透視図を担当。
9.［建築作品］武庫川女子大学 トルコ文化研究センター シルクロード建築文化展示室 セラミック室(改修)	共	2011年11月		岡﨑 甚幸，天畠 秀秋，森本 順子 武庫川女子大学トルコ文化研究センター シルクロード建築文化展示室 セラミック室。武庫川女子大学甲子園会館の1室を改修。内装および家具の設計、展示計画を担当。
10.［建築作品］京都府総合資料館(仮称)設計工事 基本・実施業務に係る公募型設計 競技案	共	2011年06月		岡﨑 甚幸，大谷孝彦，大井史江，柳沢和彦，杉浦徳利，鈴木利友，田中 明，天畠 秀秋，森本順子 ほか 総合資料館と京都府立大学（文学部・図書館） の機能連携による新総合資料館の整備を行うことにより、文化･環境･学術の交流・発信拠点の整備を図るこ とを目的にした公募型設計競技に、武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオとして応募した。（設計：武庫川女子大学建築・都市デザインスタジオ、 案の作成、中庭のCG透視図の作成を担当）
11.［建築作品］トルコ バフチェシヒル大学 日本文化研究センター(改修)	共	2010年06月		岡﨑 甚幸，森本順子，柳沢和彦，杉浦徳利，鈴木利友，天畠 秀秋 トルコ バフチェシヒル大学の日本文化研究センター。イスタンブールのベジクタシュにある建物の1階部分を改修。設計に関連して、床

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
12.[建築作品]武庫川女子大学 トルコ文化研究センター（改修）	共	2009年7月		柱・床框などの仕口・継ぎ手の図面制作を担当。 岡崎 甚幸，柳沢和彦，天畠 秀秋，森本 順子 武庫川女子大学トルコ文化研究センター 。武庫川女子大学甲子園会館の1室を改修。内装および家具の設計、展示計画を担当。
13.[建築作品]武庫川女子大学 建築スタジオ	共	2007年03月	新建築2007年11月号掲載(pp.112-123,220-221) 日経アーキテクチャ2007年11月26日号掲載(pp.24-27) 建築雑誌 増刊 作品選集 2009 日本建築学会	岡崎 甚幸，大谷孝彦，杉浦徳利，鈴木利友，天畠 秀秋 武庫川女子大学建築学科・大学院建築学専攻の新校舎。６学年分のスタジオを中心に、実験棟、教員の研究室などを計画。2007年3月竣工。武庫川学院施設部専門員として、設計監修、別途工事計画、家具計画などを担当。 平成19年度プレストレストコンクリート技術協会賞受賞　2007. 第50回BCS賞（建築業協会賞）受賞 2009. 建築雑誌 増刊 作品選集 2009 日本建築学会 第6回 西宮市都市景観賞　まちなみ建築部門・まちなみ発見クラブ賞
14.[建築作品]武庫川女子大学　第一体育館（改修）	共	2006年03月		岡崎 甚幸，天畠 秀秋 武庫川女子大学 第一体育館の2階を改修。更衣室を拡張するために計画。2006年3月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）にて、改修の基本設計、実施設計監修を担当。
15.[建築作品]武庫川女子大学 甲子園会館（改修）	共	2006年03月	近代建築 2006年8月号掲載 新建築 2007年11月号掲載	岡崎 甚幸，杉浦徳利，鈴木利友，天畠 秀秋 武庫川女子大学甲子園会館(旧甲子園ホテル)を武庫川女子大学建築学科・大学院建築学専攻の学舎として使用するために耐震改修。１年生のスタジオ、アトリエ、講義室などを計画した。2006年3月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）において、改修設計監修、家具計画などを担当。 第17回BELCA賞 ロングライフ部門受賞
16.[建築作品]武庫川女子大学 附属中学校・高等学校 芸術館連絡渡り廊下	共	2005年07月		岡崎 甚幸，杉浦徳利，天畠 秀秋 武庫川女子大学 附属中学校・高等学校の既存の校舎と新たに改修した芸術館とを連絡する渡り廊下の計画。2005年7月竣工。武庫川学院管理部（現施設部）にて基本設計、実施設計監修を担当。
17.[建築作品]武庫川女子大学 学術研究交流館	共	2005年03月		岡崎 甚幸，杉浦徳利，鈴木利友，天畠 秀秋 武庫川学院の研究施設で「武庫川女子大学関西文化研究センター」および「子ども発達科学研究センター」の活動拠点として計画。2005年3月竣工。武庫川学院管理部(現施設部)にて、基本設計、実施設計監修、家具計画、サイン計画等を担当。
18.[建築作品]武庫川女子大学 附属中学校・高等学校 芸術館（改修）	共	2005年03月		岡崎 甚幸，杉浦徳利，鈴木利友，天畠 秀秋 元鳴尾競馬場の建物で、武庫川女子大学 附属中学校・高等学校で部室棟として使われていたものを芸術館として再生。2005年3月竣工。武庫川学院管理部(現施設部)にて、基本設計、実施設計監修を担当。 第19回ＢＥＬＣＡ賞ロングライフ部門受賞
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
1.Petra Museum Project 2013 in the Hashemite Kingdom of Jordan	共	2014年8月	Intercultural Understanding, Volume 4, 2014, pp.79-99	Shigeyuki Okazaki, Hideaki Tembata Our project for the design of the Petra Museum aims to preserve, restore and exhibit the Petra World Heritage Site. We created four designs that consider specific views of the areas that surround the site. Using computer graphics, created composite images that depict the proposed appearance of the museum for each of the four designs against the selected background pictures. We expressed our views on the issues raised by UNESCO's landscape assessment criteria and proposed including elements of Japanese landscape composition, preserving existing trees, matching the design with the stone ruins, and referencing a form that symbolizes Petra's culture.
2.ヨルダン国ペトラ博物館建設に伴う初期遺跡影響評価	共	2014年3月22日	日本西アジア考古学会　第21回西アジア発掘調査報告会報告集、平成25	山内 和也、岡崎 甚幸、岡田保良、濱崎 一志、天畠 秀秋、原田 怜、大石 健介、大崎 光洋、アーデル･ズレイカト ヨルダン国ペトラ遺跡に隣接する博物館を建設するにあたり、博物館建設が与える景観や遺跡への影響について、環境影響評価を行っ

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
			年度 考古学が語る古代オリエント、pp.130-134	た。本報告書における景観調査を担当した。現地の写真と4つの計画案の透視図を合成する景観シミュレーションを行い、ペトラにふさわしいデザインであれば、現在の景観がこれ以上悪くなることは考えられず、博物館が文化的なモニュメントとして活用できることを具体的に示した。
６．研究費の取得状況				
1.3次元GISを用いた景観分析による終末期天皇陵古墳の立地原則の解明	単	2024年4月1日～2027年3月31日	日本学術振興会 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金） 基盤研究(C)	課題番号：24K07826 本研究課題では、携帯端末搭載のLiDAR測量による微地形と詳細な地形図による墳丘の3次元モデルと3次元GISで終末期天皇陵古墳の立地に関わる景観を可視化し、古墳の軸線や墳丘と自然景観や古代宮室･古道との眺望関係から各古墳の景観の特徴を明らかにして、それらを類型化し、天皇陵古墳の立地原則を解明することを目的とする。
2.3次元GISを用いた景観分析による畿内における終末期古墳の立地原則の解明	単	2021年4月1日～2024年3月31日	日本学術振興会 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金） 基盤研究(C)	課題番号：21K04449 本研究課題では、UAV(ドローン)写真測量により作成した古墳の微地形の高精細な3次元モデルと広域の3次元地形モデルを3次元GIS上で統合することにより、畿内における終末期古墳の立地に関わる景観を可視化する景観シミュレーション画像を作成する。景観シミュレーション画像を用いた古墳の軸線･墳丘の形態と自然景観や古代寺院･官衙遺跡との眺望関係の景観分析を通して、各古墳の景観の特徴を明らかにした上で、それらを類型化することにより、終末期古墳の立地原則を解明することを目的とする。
3.3次元GISを用いた河内・大和における終末期古墳の景観の可視化と類型化	単	2017年4月～2020年03月31日	日本学術振興会 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金） 若手研究(B)	課題番号：17K18276 本研究課題では、3次元GISを用いて河内・大和における終末期古墳の立地に関わる景観を可視化して各古墳の景観の特徴を明らかにした上で、それらを類型化することにより、終末期古墳の立地原則を、古代の思想(死生観)と自然景観との関係から解明することを目的とした。研究成果は以下の通りである。①UAV写真測量と3次元GISによる終末期古墳の景観の可視化方法を提案した。②河内・大和の計23基の終末期古墳から見た景観を可視化した。③景観の類型化を通して、終末期古墳の立地原則として、古代の死生観と深く関係すると考えられる遠景の山並みの眺望景観が重視された可能性が高いことを景観的な観点から明らかにした。
4.3次元地理情報システムを用いた河内･大和における終末期古墳の立地原則の解明	単	2015年04月～2016年03月	武庫川女子大学科学研究費補助金学内奨励金	
5.トルコの歴史都市の空間構成と自然景観の関係	単	2012年04月～2013年03月	武庫川女子大学科学研究費補助金 学内奨励金	

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2017年09月11日～09月21日	ユネスコ文化遺産保存日本信託基金中央アジアのシルクロード世界遺産支援プロジェクト(第2期)「ウズベキスタンにおける現地トレーニングワークショップ」の講師
2.2014年01月～現在	地理情報システム学会
3.2013年09月07日～09月12日	ペトラ博物館建設にかかる環境影響評価のための景観調査
4.2010年04月～05月	夙川小学校校舎改築設計業務にかかるプロポーザル審査委員会
5.2008年03月～2010年03月	日本建築学会　環境技術と建築・街並み・地域のあり方特別調査委員会委員
6.2004年04月～2009年03月	武庫川女子大学関西文化研究センター
7.2002年03月～現在	日本建築学会